

本県ゆかりの白洲次郎 生誕110年を記念

山荘建てた 蔵王で催し

日本国憲法の草案作成に携わり、本県ともゆかりのある白洲次郎(1902〜85年)の生誕110年を記念したトークイベントが26日、山形市蔵王体育館で開かれる。白洲が蔵王温泉スキー場に建てた山荘「ヒュッテ・ヤレン」の復元・保存運動の一環で、白洲が楽しんだという樹氷見学のツアーもある。

白洲は51(昭和26)〜59年を築し、ビールを飲んだと東北電力の初代会長を務書いている。トークイベントに、蔵王が気に入って山荘を先に立ち、同日午前9時から建てたという。山荘の保存運動希望者による樹氷見学ツアーを進めている東京のNPを行い、ビールやコーヒ、O法人「元氣・まちネット」食べ物を持参してその再現を試みる。(矢口正武代表理事)戸沢村出身)がイベントを企画した。トークイベントの募集人員は30人。福岡市や横浜市など

トークや樹氷見学 26日

当日は午後2時から、矢口からも既に参加申し込みがあるさんがヒュッテ・ヤレンの現るとい。参加料は資料代千円。樹氷見学のロープウェイを説明し、意見交換する。開1代は別。希望者には前日の25日、無料のスキー教室も始前に山荘内部を見ることが出来る。開く。申し込みは10日まで、

白洲の長女牧山桂子さんはファクス03(338829)4 著書「次郎と正子」に、白洲692へ。問い合わせは矢口たちが蔵王ロープウェイ地蔵さん090(5494)86 山頂駅付近で樹氷の続く眺望99。